

第1回 6月11日(土)

今回のテーマは、「集団のやる気を高める雰囲気を創る」でした。

本日の講座の目的は、①集団の雰囲気を良くするためのファシリテーションスキルを身に付けていただくこと、②集団の雰囲気を良くするためのイメージをもっていただくことの2点でした。

そのために、まず、「教師という仕事の魅力」をテーマにしてエクササイズを実施しました。話し手と聞き手に別れ、聞き手は話の中から伝わった感情や話し手が大切にしていることをできる限り完璧に応答します。(問題を解決しようとしません。)その後、全体でシェアしていただきました。

【集団のやる気をそぐこと】

- ・それぞれに何が好き、何をしたいのかが共有されていない。
- ・頑張った分が十分に報われない。
- ・勝手に誰かが決めてしまう。
- ・決めたルールが守られているか、モニターされていない。
- ・良い行動、悪い行動に適切な対処がされていない。
- ・解決までに時間がかかりすぎる。
- ・自分たちで決めることができない。
- ・よその集団との関係性ができていない。



受講者からの受講後の感想の一部を以下に紹介します。

- 外発的な動機付けの大切さが分かりました。また、環境を変えること、探究心を意識していきたいと思いました。
- 思っていたより参加者の方との交流がなかったので、もう少しあってもよかったのかなと思います。自分と向き合い、心を整理することはできましたが、その後どうすればよいか具体的に知りたかったです。
- 相手のこと、自分のことを理解する際に思考や感情と行動を分けて考えることを大事にしていきたいと感じました。
- 今日の話の中で、「毒」の話が一番心に残りました。どうしても教師目線で見ってしまうので、明日からは少しでも見方を変えられればと思いました。
- 「当たり前。分かっている」という気持ちや感情を本日の研修のように改めて視覚化することで、クラスや集団の中に「負」の感情がたくさん存在すると、「やる気」が出ないということが分かりました。今日、改めて自分のクラスの子どもの心を「アイスブレイク」していくことが大切なのかな...と思いました。